

令和5年度 高冷地水稻生育速報(第2報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月14日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉色		葉齢			
						葉色板	SPAD値				
たかやまもち	本年	30.2	(96%)	286	(68%)	3.9	(+0.2)	35.2	(-2.0)	7.0	(-0.6)
	前年	24.9		375		3.6		36.9		7.3	
	平年	31.3		419		3.7		37.2		7.6	
あきたこまち	本年	27.6	(94%)	297	(79%)	4.4	(+0.4)	38.1	(-2.3)	6.9	(-0.9)
	前年	22.8		304		4.1		39.7		8.2	
	平年	29.3		376		4.0		40.4		7.8	
ひだほまれ	本年	29.8	(91%)	291	(74%)	4.0	(+0.5)	35.5	(-1.1)	7.3	(-0.6)
	前年	26.9		342		3.3		35.2		8.0	
	平年	32.8		394		3.5		36.6		7.9	
ひとめぼれ	本年	25.3	(87%)	318	(63%)	4.0	(-0.1)	36.8	(-3.1)	7.0	(-0.8)
	前年	22.2		412		4.3		40.8		7.9	
	平年	29.2		505		4.1		39.9		7.8	
コシヒカリ	本年	29.9	(93%)	304	(65%)	4.4	(+0.5)	36.2	(-3.0)	7.2	(-0.5)
	前年	24.2		389		3.6		37.2		7.9	
	平年	32.2		468		3.9		39.2		7.7	

栽培条件：移植5月16日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値：過去5年間(H30年～R4年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

移植後の平均気温は平年並みに推移し、日照時間は平年並みであった。

2) 生育概況

生育は草丈は平年より低く、茎数は平年より少ない。SPAD値は平年より低く、葉色版値は平年並み～やや高い。葉齢は平年より小さい。

3) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシ、イネゾウムシの発生が確認された。発生密度の高い無防除のほ場においては発生状況に合わせ防除を検討する。

4) 今後の管理

「中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き効果がある。また、秋作業を楽にするためにも6月末～7月上旬までに実施するようにする。ただし、分けつが平年より遅れ気味なので茎数に応じて中干し時期を検討する(中干し開始の目安は、「コシヒカリ」では茎数20本/株)。中干し後は間断灌水を行う。また、健全な生育のため7月上旬までにケイ酸カリを施用する。

令和5年(2023年)の気象図

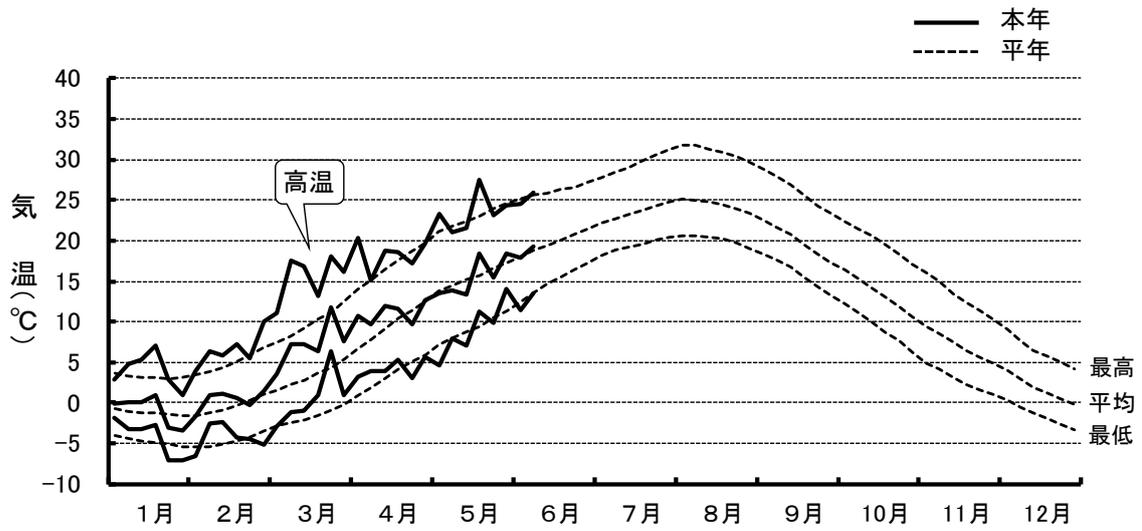


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

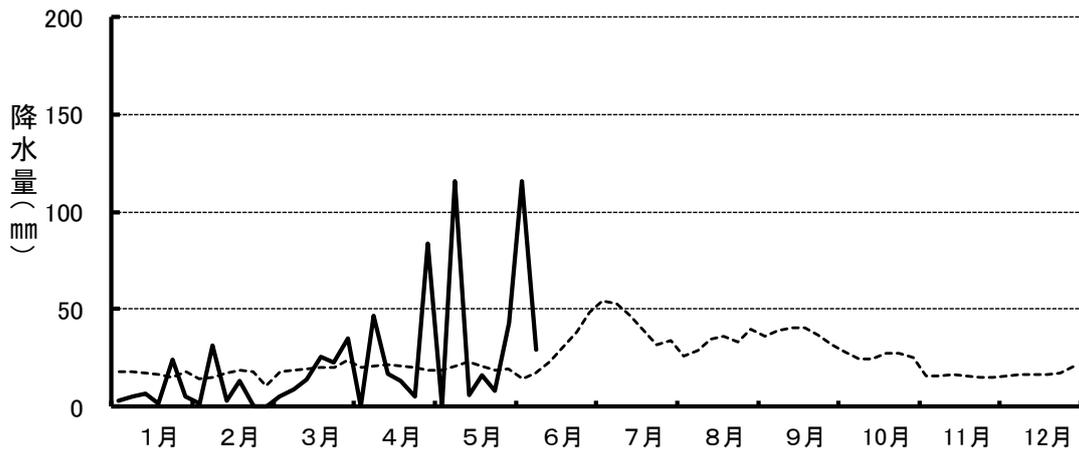


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

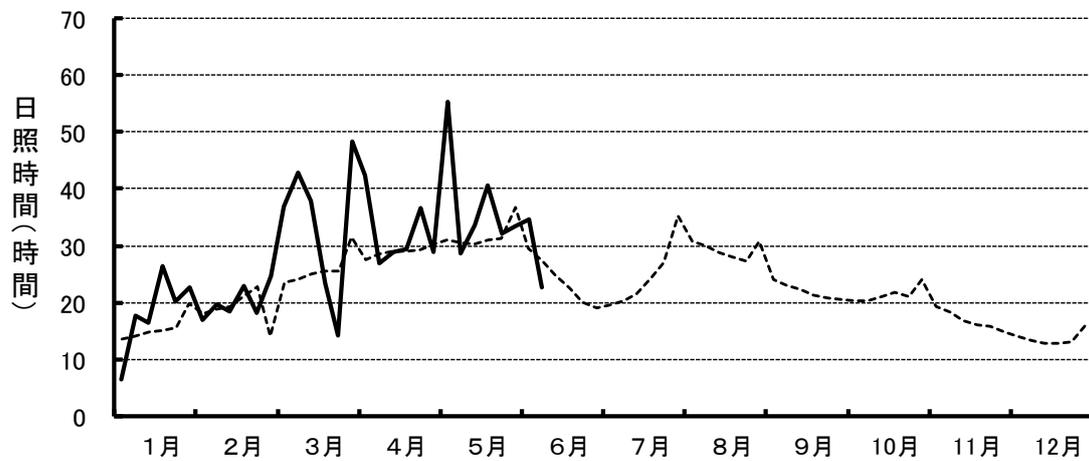


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)